

市長のタウンミーティング 道下地区

(敬称略)

	<p>開催日時 平成29年10月31日(火) 19:00～20:30 会場 道下公民館 参加人数 34名</p> <p style="margin-top: 20px;">開会挨拶 道下地区振興協議会長 大崎 勇 書記 一瀬慎至</p>
---	---

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	道下	教育環境 まちづくり	道下小の通学路は車の通行が非常に多い。線路際に幅広い道を設ければ、経田からくる時でも、危ない道を通らなくてもすむのではないのでしょうか？その道路を広く高くして、災害にも強く、逃げ込めるようにしてもらえれば二重の効果があると思います。道下地区として平成28年の総合計画の中に要望を挙げています。
2	道下	まちづくり	小川田住宅の取り壊し予定について、現在、2棟続きの住宅が3.4棟しかありません。10年前くらいから取り壊すという風に聞いていますが、なかなか発展がありませんが、どのように進めるのでしょうか？
3	道下	まちづくり	配偶者が市外出身の人で、どこに住まいを建てようか、という状況の人は多いと思うのですが、そういった方に対して、魚津市に定住してもらう対策はありませんでしょうか？
4	道下	まちづくり	「まるまる魚津」「Sea級グルメ」開催時に、駐車場不足であった。改善してほしい。
5	道下	まちづくり	県の事業で防波堤をつくっていますが、想定されている津波には全く持たないのは明らかだと思います。想定される呉羽山断層帯2.2mに耐えられるような堤防にしてくださいよう検討してもらえればと思います。
6	道下	まちづくり	浄化センターは、下水道課等に聞いたところ、耐震強度がなく、さらに電気系統が防水仕様になっていません。ポンプ室も電気系統が防水になっていません。つまり、津波が来たときには間違いなく浄化槽がダウンし、地域に大腸菌を含む汚水が流れ出すと私は推測しています。是非そういったことを考えた、浄化槽というものを検討してほしいと思います
7	道下	まちづくり	前回も同じことを言ったのですが、村木小学校が廃校予定となっており外観が美術館のようですので、是非転用して美術館にはできませんでしょうか。美術館の形式には拘りませんが、環境づくりをしていただくようお願いいたします。

平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	道下地区	日時	10月31日(火) 19時00分より 20時30分まで	参加者数	34名
会場名	道下公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	環境安全課 一瀬 慎至
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか	地区からの主な参加者	地区振興協議会長、各地区区長、公民館、地区選出議員ほか		

1. あいさつ

地区振興協議会長 大崎 勇

2. 市長談話

市長 村椿 晃

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

○「第48回衆議院議員選挙の投票率」について

○うおづのうまい水 モンドセレクション最高金賞受賞

○たてもんの森 文化の継承

○人口について

- ・住み良さランキング（東洋経済新報社）について
- ・魚津市の現状・将来予想

○子育て支援について

- ・安心して産み育てる環境の整備
- ・仕事と家庭の両立等
- ・経済的負担の軽減

○教育環境について

- ・小学校英語教育の推進
- ・教育用ICT環境整備
- ・通学の安全、安心対策
- ・ふるさと教育

○まちづくりについて

- ・定住、空家対策

○災害に強いまちづくりについて

- ・津波のハザードマップについて

○健康寿命の延伸について

- ・魚津市民の健康（がん死亡率等）

3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

○通学路の問題について①（教育環境・まちづくり）

道下小学校前へ行く時に、車の通行が多い場所を通っていますが、線路際に幅広い道を設ければ、経田からくる時でも、危ない道を通らなくてもすむのではないのでしょうか？

もうひとつ、その道路を広く高くして、災害にも強く、逃げ込めるようにしてもらえれば二重の効果があると思います。是非実現できるように考えてほしいなと思います。

（村椿市長）

体育大会の日に中央通りから経田小学校まで歩きました。朝早かったのですが、車どおりは少なかったですが、たまに車が来ると避けるところがなく、家の壁の方に行ったりして、危ないというのは実感しました。

前々からその道路に関しては指摘されており、市としても頭を悩ませているところですが、方法論として全く別の通学路を設ける、退避所を設けるなど色々な方法あると思いますが、しっかり通学の安全というものを少しでも高めるためにどうすればいいかを考えていきたいと思っています。

○小川田市営住宅について（まちづくり）

小川田住宅の問題について、吉島住宅と同じで取り壊す予定ですが、現在2棟続きの住宅が3.4棟しかないですが、10年前くらいから取り壊すという風に聞いていますが、なかなか発展がありませんが、どのように進めるのでしょうか？

（川岸企画総務部長）

小川田市営住宅については、入居を停止して解体して更地にしていくという方針です。順次今おられる人に理解してもらい、スムーズに別の住宅に移動してもらうということが進めばすぐに進むのですが、空いたところから順次計画的に解体していく方針です。吉島はその目途が立っていて、今ちょうど跡地の活用について公募を始めているところです。小川田についても遅れて申し訳ありませんが同じ方針です。

○通学路の問題について②（教育環境）

先程、道下から経田への通学路について、幅広く嵩上げをした道路にしてほしいという話があり、市長からも色々考えているというお話がありました。実はこの要望については、道下地区として平成28年の総合計画の中に要望を挙げておきまして、その時の市側の考え方として「支援実施に向けて検討を始めていくものである」という回答があったわけですが、先ほどの市長のお話以外で、進捗状況がわかるお話があれば聞かせていただきたいです。

（川岸企画総務部長）

市長への道路整備の地区要望がたくさんある中で、まずは通学路を最優先にして取り掛かっています。道下地区の総合計画の中で掲げておられる現道の道下小学校の前の拡幅は非常に困難であるという部分ではありますが、他にこういったプランで出来るかということとは検討しているのですが、線路沿い道路という案も含めて、まだ具体的に線を描いていくことはできていません。今後も教育委員会とともに考えていかなければならないことだと思っています。

(村椿市長)

どういう風にできるかお約束はできませんが、具体的に検討いたします。

○魚津市の定住対策について（まちづくり）

人口減少に対する社会増対策になるかと思いますが、私の孫が結婚してこれから新居を建てるという状況です。配偶者が市外出身の人で、どこに住まいを建てようか、という状況の人は多いと思うのですが、そういった方に対して、魚津市に定住してもらう対策はありませんでしょうか？

(村椿市長)

魚津市に住んでもらうための対策として、今年度始めたことがあります。北陸職業能力開発大学の学生が魚津市に住んで就職してくれたら、奨学金の返済を免除する制度を始めました。役所内でも色んな議論がありましたが、私は魚津市に住んでくれれば就職先は魚津市でなくていいと言いました。

次にUターンIターン対策として市外から魚津市に住もうという方たちへの対策として、家賃や住宅の補助制度があり、利用している方も実際にいます。

(川岸企画総務部長)

今までは魚津市に来られる場合に対しての支援制度にとどまっていたのですが、魚津市からの転出への対策も防ごうということで、思い切って、市内に居住されている方でも、新たに土地を所有されて住宅を建てる場合に助成する制度を設け、転出防止を行っています。

○「まるまる魚津」「Sea級グルメ」開催時の駐車場不足について（まちづくり）

私は先日〇〇魚津にて2日間車両誘導係をやっていましたが、その感想をお話させていただきたいと思います。朝10時ごろから車が混んできて、駐車しようと何度も周辺を回ってくる人がおり、満車だと何度も謝っていた。あんまりなので、ありそドームの向かいのコーヒ屋に駐車場を貸してくれと頼んだ。その時に業者の車が駐車してあるのを見た。業者の車はずっと動かない。いい場所はお客さんに空けておくべきなのに、業者がとめっぱなしにしているのを見て気の毒だと思った。要するに駐車場が狭いぞというのを一言、言いたかったということです。

(村椿市長)

今回の〇〇魚津は sea 級グルメと併せたということで、正直どのくらいの来客があるかというのをなかなか読めませんでした。当初 25,000 人との予想が実際には 38,000 人ということで、人数がかさんだものですから、本当に申し訳ないなと思っております。業者の車の問題もそうですが、事前のアナウンスについても、近くに行って止める場所がないということが分かって、戻ってほしいというような話もありました。もう少し事前の告知をやるべきだったと反省しております。

○防波堤について（まちづくり）

1.4 kmにわたって経田の海岸に防波堤をつくっています。あれは県の事業だと思いますが、気が付いたことがあります。1m位の嵩上げをしているのですが、鉄筋そのものは19~20 mmで、500 ピッチくらいで従来の基礎の上に防波堤を作っています。あれは高波に対しては大丈夫だと思うのですが、想定されている津波には全く持たないのは明らかだ

と思います。そこら辺を調べてもらって、せっかくあれだけの工事をするのであれば、住民が安全なまちづくりという観点においても、想定される呉羽山断層帯 2.2mに耐えられるような堤防にさせていただくよう検討してもらえればと思います。

(村椿市長)

県の防波堤ですが、技術的にどこまでの工事をしているのか私も把握していませんので、勉強してみたいと思います。

○浄化センターの防災対策について（まちづくり）

浄化センターについてですが、下水道課等に聞いたところいわゆる耐震強度がなく、さらに電気系統が防水仕様になっていません。ポンプ室も電気系統が防水になっていません。つまり、津波が来たときには間違いなく浄化槽がダウンし、地域に大腸菌を含む汚水が流れ出すと私は推測しています。大腸菌は海水に弱いですが、海水がすべてを洗い流してくれるわけではないので、2,000人くらいの被害になると推定されます。是非そういったことを考えた、浄化槽というものを検討してほしいと思います

(村椿市長)

浄化センターについてですが、災害を想定した対策について、ひとつとしては先ほど説明したハザードマップにもありますが、想定される津波の区域がどうなるのかという問題がまず一つあり、その上で浄化センターの老朽化対策をやっていく時にどういった津波に対してどういった処理が必要なのかを考えていかなければいけないと思っています。現在、ハザードマップを作成していますが、もうひとつ魚津断層帯に基づく浸水想定をどうやるか国に対しても働きかけているので、本当に考えられる地震が起きた時の津波ってどうなのかを調べて対策をやっていかなければならないと考えています。

○美術館について（教育環境）

魚津市には美術館がありません。それにふさわしいような環境整備をお願いしたい。美術館の趣旨は市に関係する美術品を展示することですが、その場所がなく、またそういった場所を拠点にして、美術・芸術・芸能関係等の振興を図るための企画展的なものができません。ほかの市町村は連日新聞にそういった企画展の記事が載っていますが、魚津市は載っていません。これは今までの長い歴史の積み重ねでこうなっていると思いますが、私はこのままでよろしいのかと思っています。行政の立場として、こういった状況をどのように考えておられますか。

昨年も同じことを言ったのですが、村木小学校が廃校予定となっておりご存知のように外観が美術館のようですので、是非転用して美術館にはできませんでしょうかという提案をしました。美術館の形式には拘りませんが、環境づくりをしていただくようお願いします。

(村椿市長)

新川文化ホールの展示ホールの部分は施設をつくる時の考え方として、市民ギャラリー的な要を持ち、そこで美術展をやるということになっています。ご指摘は常設の美術展が出来るような場所がないということだと思いますが、おっしゃる通り魚津市にはありません。他市町村をみると2通りありまして、市固有の著名な美術作家がおられ、その方からまとめて美術作品の寄贈を受けて、その作品を記念展示するための場所を民間と行政で協力して美術館として設けるという形をとっているところと、そうではなくて、小矢部のアートホールのように常設ではないが、美術作品にふさわしいような展示空間

をつくっているところがあります。

県庁でそういった施設にたくさん関わっていたのでよくわかるのですが、一番大切なのは建物ではありません。作品、魂の部分です。それがどれだけ特色ある美術作品であるかが基本になると思います。そういう意味で言うと展示も大事ですが、保管機能が大切になってくると思っています。市役所にも美術作品をたくさん持ってきていますが、少し保管機能が弱いのでどれをどうしていこうかとまず思っています。

ここからは個人の意見として聞いてほしいのですが、将来市役所を建て替えや民間施設の移転なども含めてまちづくりをどうしようかと考えていますが、学校施設をどうやって活用していこうかと考えています。例えば東京では廃校になった中学校を利用して市民のアートギャラリーという形で市民の皆様が美術作品を展示するといった空間をつくったりもしています。いわゆる美術館とは違うかもしれませんが、美術を愛好する方々が広く一般の人々に見てもらえる空間をつくっています。昔ながらの美術館にあこがれる気持ちもありますし、美術を愛する人たちが広く親しむ場所をつくるにはどうしたらいいかということもあるので、よく考えていかなければいけないと思っています。個人的には好きな世界ですけども、今すぐにどうこうするという余裕はありません。